

# 立命館大学 DAISY シンポジウム

## マルチメディア DAISY 図書の可能性

—だれでも楽しく本に接することができる社会を目指して—

「目に見えるのに、理解力も普通なのに、本を読むのが苦手だ」「正確な字を書くのがつらい」というお子さんはいませんか。ディスレクシア（読み書き困難）という3%程度の子どもに見られる現象です。つまり、クラスに1人は、読んだり書いたりすることに困っているという計算です。

小学校低学年までは、教科書の文章も短く簡単なもので、本人の暗記力によって、こうした読み書き困難の問題は顕在化しません。担任教師やご両親はもとより、自分自身さえ、気がつかないことがあります。やがて、学年が上がっていくと、学習の深刻な妨げとなっていくます。

でも、落胆しないでください。そうした子どもたちを支援するために、現在、パソコンや iPad などを使用できる「DAISY 版教科書」が準備され、さまざまな支援活動が展開されています。

本シンポジウムでは、DAISY の専門家と学校で、実際、成果を挙げられている小学校の先生をお招きし、誰でも楽しく本に接することができる社会を実現するために、私たちにできることを考えていきます。大切なのは、まず、勇気をもって知ること。どうか奮って、皆さまご参加ください。

日時： 2013 年 3 月 24 日（日曜日） 10:00～12:00

場所： 立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム  
参加費無料（会場は、立命館大学ホームページでご確認ください。  
なお、当日は公共交通機関にてお越しください。）

### 予定スケジュール

10:00～10:20 rits-daisy と右京区の子どもたちの活動報告

「皆で DAISY 絵本を作ったよ!!」

10:20～11:00 河村宏氏（前 DAISY コンソーシアム会長）の報告

「マルチメディア DAISY 図書の現状と将来」

11:00～11:15 芳倉優富子氏（奈良県香芝市通級指導室教員）の報告

「DAISY ツールでこんなに成績アップ!」

11:15～12:00 パネルディスカッション形式による来場者との交流



注記： 本企画は文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「大学を模擬社会空間とした自立支援のための持続的対人援助モデルの構築」プロジェクトの研究成果として、広く社会に発信するものです。

主催 立命館大学 DAISY 研究会

立命館大学人間科学研究所（多言語 DAISY テキストによる外国人児童の学習支援に関する研究プロジェクト）

お問い合わせ先（e-mail: ozawa@ss.ritsume.ac.jp）